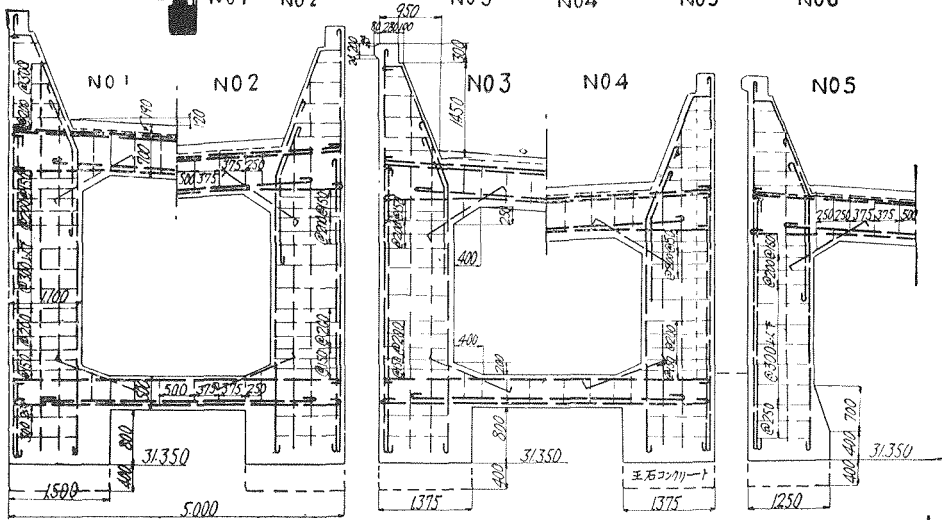
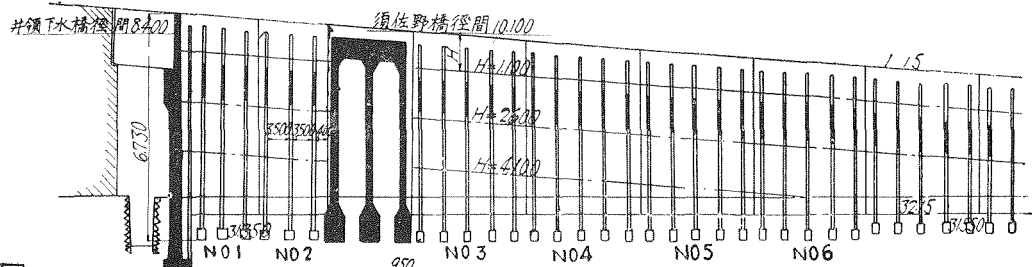


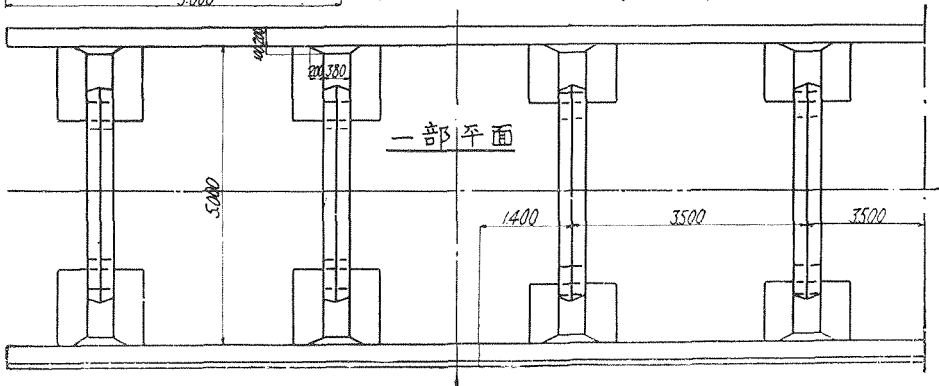
山陽本線兵庫荊藻川間

一線分土留擁壁設計圖の一部

縦断面



一部平面

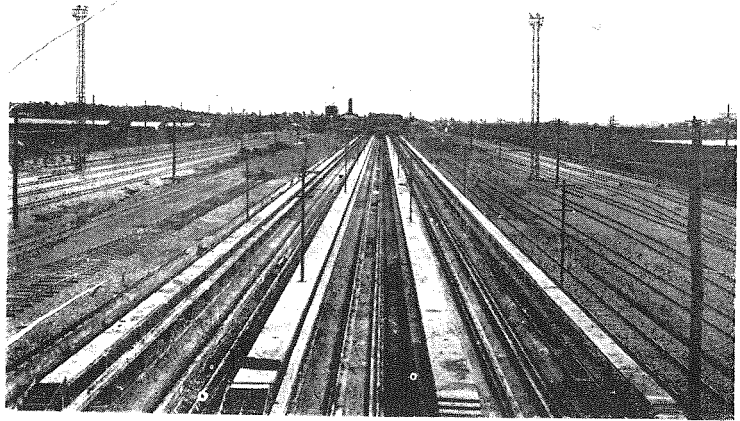


(16) 明石客車操車場
(工事中を示す)

在來の神戸驛及明石驛で取扱つてゐた旅客列車の滯留、洗滌、編成等の作業を本操車場で行ふものである。

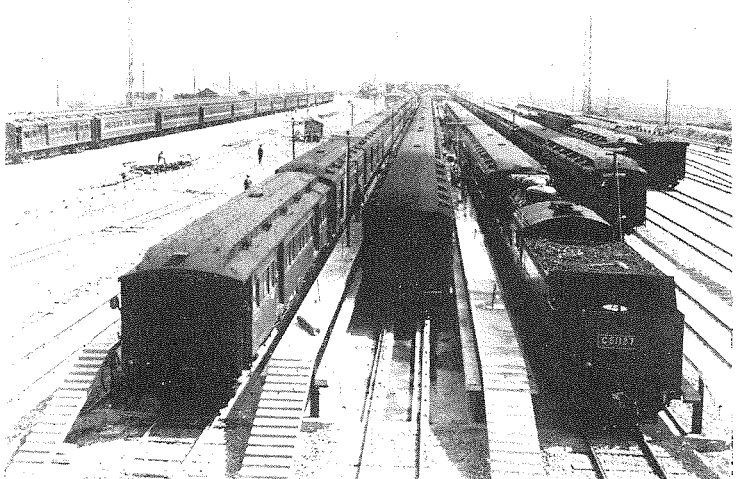
發着線各二本宛、滯留線七本、洗滌線三本、消毒室真空設備(客車清掃用)壓搾空氣設備 列車空氣制動用洗濯設備等を包含する。

尙五〇〇ワット照明塔五箇を設備してゐる。



(17) 同上客車洗滌臺

此の洗滌臺の延長は各270米 客車19輛宛を收容し得る然して九米間隔に叫野式自動給水管を、又兩外側の二臺には約18米間隔に真空清掃装置(バキュームクリーナー)を設備してゐる。真空清掃は客車座席の塵埃を吸込む装置である。



(18) 湊川貨物驛

神戸驛の旅客設備を高架とするに従つてその貨物設備を切離し在來の貨物操車場附近一帯に湊川貨物驛として新設し東灘驛から分岐したる小野濱線を延長して連絡せしめた本驛の取扱貨物は在來同縣西神戸附近の貨物の集散、國産埠頭への海陸連絡を掌るものである。中央5.6本の並列線が發着本線其他機關車線等で右側が陸揚ホーム關係であり左側の突込線の中斷してカーブしてゐる線が埠頭への連絡係線である。

